

●入試名称 大 学 (問合せ先等)	学 部 (学群・学域)	学科・専攻 (学類)	募集人員	出 願 資 格				選 考 方 法		2018年度入試日程			備 考	2017年度入試結果			
				対象課程	出願時区 の分	現浪区分	成績基準	特定条件(取得資格・活動実績等) ・求める学生像等	C T 教科 科目	小論文・面接・その他 * 提出書類 (志願票以外)	出願期間	試験日	合格発表	合否判定評価法, 小論文・面接の内容, 新增設, その他	出願者数 (全応募者数)	合格者数	競争率
●AO入試 岩 手 大 学 ★学務部入試課 ℡(019)621-6064 〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8 要項: 〒200円 テレメールで請求 出願: 郵送	人文社会科学	人間文化	5	全	専	浪	×	次のような能力・資質を備えている人。(1)知識・理解－人間・言語・文化・芸術・スポーツについて学ぶための基礎的知識を有し, 物事を論理的に考えることができる人, (2)思考・判断－多様な特性をもつ人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸現象を多角的に捉えることができる人, (3)関心・意欲－人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸問題について世界および地域双方の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人 (ほかに技能・表現, 主体性・協働性－要項確認)	×	1次＝書類審査・課題要約(約15分)・面接 (個別, 約15分－課題要約発表, 自己PR含む) 2次＝集団討論 (180分－資料に基づく感想・意見のまとめ含む)・面接 (個別, 約30分) (書類)出願理由書, 実績記入書, 調査書	8.1 ～ 8.4	<1次> 8.28 8.29 (指定) <2次> 9.19	9.4 10.2	(注)1次選考→全課程とも面接前に提示された課題の要約(約15分)を行い, 面接で課題要約の発表 (1分程度)・質疑, 自己PR (1分)・提出書類についての質疑を行う	30	5	6.0

●入試名称 大 学 (問合せ先等)	学 部 (学群・学域)	学科-専攻 (学類)	募集人員	出 願 資 格				特定条件(取得資格・活動実績等) ・求める学生像等	C T 教科 科目	選 考 方 法		2018年度入試日程			備 考 合否判定評価法、小論文・面接の内容、 新増設、その他	2017年度入試結果		
				対象課程	出専願 時区 の分	現浪 区分	成績 基準			出願期間	試験 日	合格 発表	出願者数	合格者数		競争率		
●AO入試 岩 手 大 学 (続)	人文社会科学	地域政策	3	全	専	浪	×	次のような能力・資質を備えている人。(1)知識・理解－社会・環境について学ぶための基礎的知識を有し、物事を論理的に考えることができる人、(2)思考・判断－複雑に絡み合う社会・環境をめぐる諸現象を多角的に捉えることができる人、(3)関心・意欲－社会・環境をめぐる諸問題について、法・経済・環境の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人(ほかに技能・表現、主体性・協働性－要項確認)	×	1次＝書類審査・課題要約(約15分)・面接(個別、約15分－課題要約発表、自己PR含む) 2次＝集団討論(210分－まとめのレポート作成含む)・面接(個別、約30分－成果発表含む) (書類)出願理由書、実績記入書、調査書	8.1 } 8.4	<1次> 8.28 8.29 (指定) <2次> 9.19	9.4 10.2	(注)1次選考→全課程とも面接前に提示された課題の要約(約15分)を行い、面接で課題要約の発表(1分程度)・質疑、自己PR(1分)・提出書類についての質疑を行う	14	3	4.7	
		<地域創生特別プログラム－ものづくり系> システム創成工 －電気電子通信 －知能・メディア情報 －機械科学	5					全	専	現	×	次の全条件。(1)それぞれの専門分野の学修および専門性を通じて地域社会を創生するためのリーダーシップの習得に必要な資質と意欲がある者、(2)物基(理数物)必須、化基・理数化・科学と人間生活から1科目以上の履修者	×	1次＝書類審査 2次＝面接(数ⅠⅡAB<数列・ベクトル>の口頭試問含む)・プレゼンテーション(発表10分、質疑応答10分) (書類)自己推薦書、志望理由書、調査書	8.1 } 8.4	<1次> － <2次> 9.22	9.4 10.2	1次＝自己推薦書・志望理由書・調査書－各100点、計300点、2次＝面接350点、プレゼンテーション350点、計700点、最終－計1,000点 (注)プレゼンテーション→構想力、表現力、独創性、コミュニケーション能力を評価する
	理工	<地域創生特別プログラム－防災・まちづくり系> システム創成工 －社会基盤・環境	5	全	専	現	×					次の全条件。(1)自身の活動実績、明確な志望動機や自己アピール力を有する者、(2)物基・化基・生基から2科目以上および物・化・生から1科目(理数物・化・生から2科目)以上の履修者	×	1次＝書類審査 2次＝面接(英・物基・化基・数ⅠⅡAB<数列・ベクトル>の口頭試問含む)・プレゼンテーション(発表10分、質疑応答10分) (書類)自己推薦書、調査書	8.1 } 8.4	<1次> － <2次> 9.22	9.4 10.2	(注)プレゼンテーション→構想力、表現力、論理的思考力、情報収集能力、コミュニケーション能力を評価する
		<先端理工特別プログラム> 化学・生命理工 物理・材料理工 システム創成工	5 5 5					全	専	現	×	理工学分野の学修に深い関心と意欲を持ち、同分野において、地域や日本の将来を担う意気込みを持つ者	4-6	1次＝書類審査・プレゼンテーション(質疑応答含む)・面接 2次＝CT [C T]国・数・理(物理・材料理工学科は物・化指定、その他は物・化・生から2科目)・外 (書類)自己推薦書、所見(担任教員等が記入)、調査書	9.11 } 9.14	<1次> 9.30 <2次> －	10.11 2.6	1次＝調査書＋自己推薦書＋面接100点、プレゼンテーション200点、計300点、2次＝1次40点、CT800点、計840点で1次の得点およびCTの合計が概ね560点以上の者を合格とする